

～有機農業に取り組む生産者・団体の紹介～

石田農園



営農類型（事業形態）

施設（ベビーリーフ）

露地（たまねぎ、にんじん等）

取組内容

- ・ 有機JAS認証取得
- ・ 農福連携の実施
- ・ 近隣畜産農家の有機質資源を利用した土づくり
- ・ 新規就農希望者の研修受入れ
- ・ 土壌医（土壌医検定1級）

事業概要

従業員：2名

事業内容：野菜の生産・販売

有機農業に取り組んだきっかけ

昭和60年ごろに先代が葉たばこから野菜の有機栽培に転換、自分も栄養価の高い野菜作りに魅力を感じ、サラリーマンを辞めて有機栽培を継承しました。

有機農業の特徴

- ・ 近隣畜産農家の牛糞を利用した堆肥や自家製ぼかし肥料を使った土づくりにこだわって「うまみ・甘み・栄養価」のある有機野菜を提供しています。
- ・ 基本的な栽培技術を先代から学び、営農継承後は独学で知識を深めていく中で、土壌診断による処方箋が重要と考え、土壌医※としても活動しています。

※土壌医：（一財）日本土壌協会が実施する土壌医検定1級試験に合格し協会に登録した者

今後の取り組みについて

手間のかかる有機栽培で人手不足解消を模索する中、知人の紹介により障害者支援施設利用者に農作業の手伝いをお願いしたことがきっかけで、農福連携を開始しました。農作業は根気のいる作業が多く施設利用者に向いていると感じており、将来的には、精神障害による休職者の社会復帰支援にも取り組みたいと思っています。